学校番号	３０２０B

平成３１年度　　数学科

教科	数学	科目	数学活用	単位数	１単位	年次	２年次前期
使用教科書	楽しい数学の世界　数学活用　（実教出版）						
副教材等	サンダイヤル　プリペア・セレクト　（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・いままでの数学が苦手だった人でも、物事を順序立てて、論理的に考えたいと思う人に向いています。
・基礎基本の計算練習を軸に、既習事項の学習を行います。
・日常生活に必要な数学の基礎知識を学びます。
・学んだことを確実に身につけていく姿勢が大事です。

２　学習の到達目標

日常生活に必要な数学の基礎知識を学び、数学と人間とのかかわりや数学の社会的有用性についての認識を深めるとともに、事象を数理的に考察する能力を養い、数学を積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：数学的な見方や考え方	c：数学的な技能	d：知識・理解
観点の趣旨	数理的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする。	日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方の基礎を身に付けている。	日常の事象を数理的に捉えることにより、数学的な表現や、処理できる技能を理解し活用できる。	数量や図形についての豊かな感覚をもち、日常の事象を、数学的に捉え、それらの意味や性質などについて知識を持ち、理解している。
評価方法	確認テスト 単元テスト 授業ノート 観察等	単元テスト 定期考査 授業ノート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期考査 問題集ノート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期考査 問題集ノート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
4月	身の回りの数学	いろいろな場合の数	試合数は全部でいくつか	○			○	a　トーナメント戦、リーグ戦、簡単な道順などを順序立て考えることができることに興味・関心を持つ。 b　事象を数学的な見方でとらえることができる。 c　式を用いて事象を数学的に表現でき、活用できる。 d　順序立てて数えることができることを理解している。	確認テスト 単元テスト 定期考査 授業ノート 問題集ノート 観察等
			樹形図で考えよう	○	○	○			
			点字のしくみ	○		○	○		
			最短距離の道順			○	○		
		身の回りの図形	紋章の美しさ	○				a　線対称、点対称の図形や、多面体、展開図に興味を持つ。 b　どのような図形で平面をしきつめれるのか数学的な見方で考える。 c　多面体を展開図に表現したり、展開図から立体を想起できる。 d　図形の捉え方を理解している。	
			平面をしきつめる	○	○		○		
			多面体の性質	○			○		
			正多面体の展開図	○		○	○		
6月		数学的な表現のくふう	道順とあみだくじ	○				a　あみだくじ、一筆書き、交通機関の経路が数学的な見方ができることに興味を持つ。 b　数学的見方や考え方ができることが分かる。 c　数学的に表現することにより、数学的に処理できるようになる。 d　行列の積について理解する。	
			７つの橋は渡れるか	○	○				
			行列と経路	○	○				
			行列の積			○	○		
			航路と行列の積			○	○		
8月	社会生活と数学	経済と数学	福引きの賞金と期待値	○		○		a　福引きの有利・不利などに興味を持つ。 c　期待値、利子などの計算方法を理解し実際処理できる技能を獲得する。 d　利子のしくみを理解し、預貯金と、ローンの返済についての知識を得る。	確認テスト 単元テスト 定期考査 問題集ノート 観察等
			単利法のしくみ			○	○		
			複利法のしくみ				○		
			ローンの返済				○		

		測定と数学	本の大きさのいろいろ	○				a　相似な図形に興味を持ち、数学的に考えることにより活用しようとする。 b　隠れた部分や実際に測れないものも数学的な見方や考え方で対応できることを知る。 c　相似な図形や、勾配の表(三角比)を用いて処理できる。	
			地図を読もう	○					
			坂道の角度を求めよう	○	○	○			
			建物の高さを求めよう	○		○			

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
　　c：数学的な技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。